

New normalに必要なmobility service

2021.02.15

ビフォーコロナの世界には戻らず

コロナの影響による世の中の変化

① ニューリアリティ

② 職住融合

③ 分散型社会

④ マイクロツーリズム

テレワークが増え、
「自宅2km圏内」で生活する人々

2024年には、これまでにない
運転手不足が起きる



Community Mobility

「暮らし」や「働き方」の変化に、移動だけでなく
生活を豊かにする価値も提供する。

まちに新しい質の高い文化を創造する。

Concept

自宅から1-2kmの近距離生活圏において 人と街の絆を深めるコミュニティモビリティ

ポイント 1 | 自転車や車などを使っていた近距離移動の代替に

自宅から1-2km以内の生活圏で行われる買い物や通院、お迎えなど、徒歩では不便（距離や所要時間）なため自転車や車などを利用して近距離移動の代替交通手段として利用できる。

ポイント 2 | 行きたいときに行きたいところへ 自分の思い通りに動く交通

路線も時刻表もなく、決まったエリア内であれば行きたいときに行きたいところへ行くことができる。

ポイント 3 | 保有しないで定額料金で利用する

都度払いだけでなく、定額料金での利用もでき、交通費を気にすることなく気軽にかけるようになる。

AI オンデマンド交通 | 期待効果

地域の移動総量が増え域内の経済活性化につながる

効果①

移動手段を持ちづらい人々が積極的に外出ようになる
(高齢者・主婦・子供など)

効果②

公共施設や商業施設への来客が活性化される

効果③

公共交通への相乗効果



1 - 2 kmのエリア内の回遊型交通

公共交通

渋谷/大阪梅田/京丹後市でのAI オンデマンドシステムの実証

[移動距離]

- ・約2キロの範囲
- ・暮らしの移動
- ・長距離交通+ワンマイル

[アプリ機能]

- ・検索～配車～決済
- ・AIルーティングによる効率的な運行

[利用]

アプリで呼び出し10分程度で配車

